

経営比較分析表（令和4年度決算）

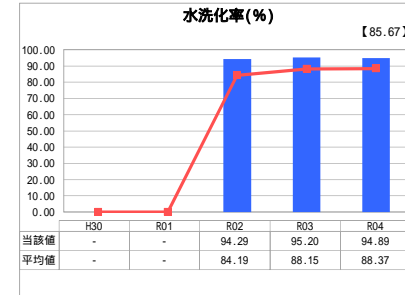
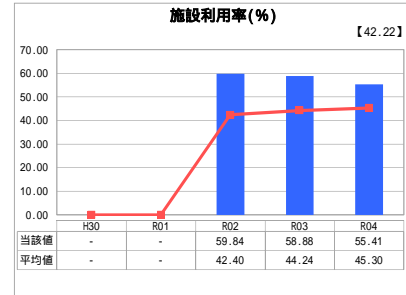
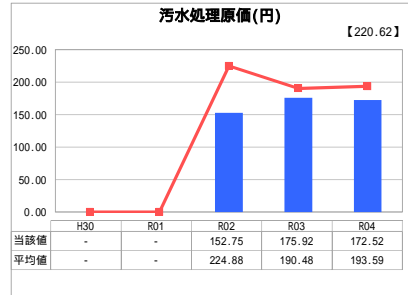
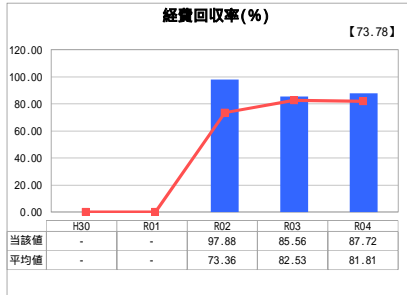
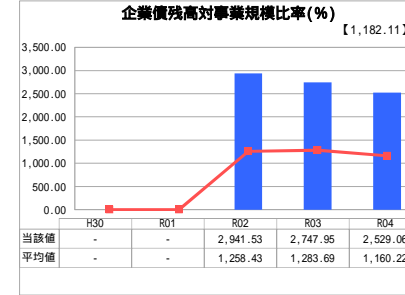
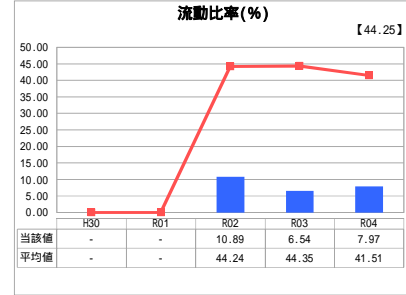
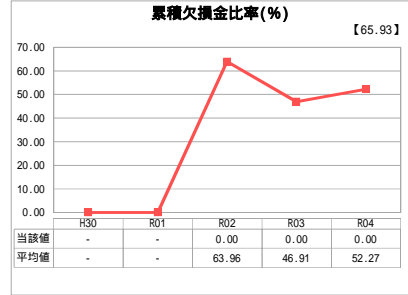
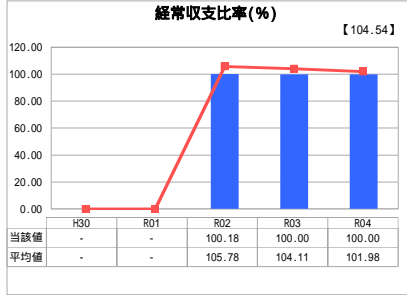
兵庫県 宍粟市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.59	32.67	80.34	2,750

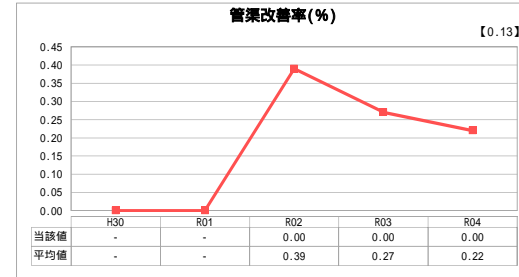
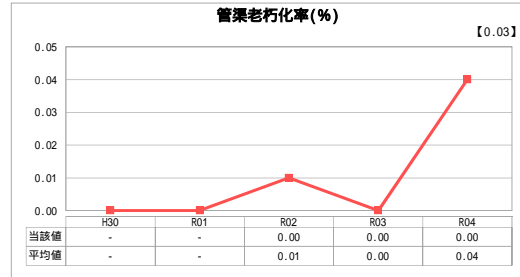
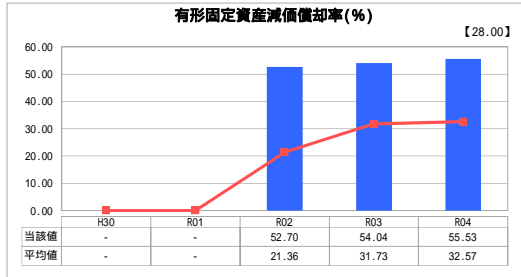
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,309	658.54	53.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,427	8.17	1,398.65

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、100%となっているが、一般会計からの繰入を行ったことによるものである。
流動比率の値が類似団体と比較しても低く、また、企業債残高対事業規模比率が高くなっているのは、当初の下水道施設整備に多額の費用がかかり、その地方債借入額が高額であることが影響していると考えられる。
経費回収率については、全国及び類似団よりも上回っており、良好と言える。
汚水処理原価については、全国及び類似団体平均よりも低くなっており良好と言えるが、効率的な経営により原価を抑えるよう努めていく必要がある。
水洗化率は全国及び類似団体平均と比較して良好と言える。

2. 老朽化の状況について

供用開始後20年以上が経過している施設があるなど、処理施設及びマンホールポンプ等の老朽化が進んでいるため、修繕料が年々増加傾向にある。

全体総括

令和2年より地方公営企業法の財務規程適用により、消費税等の節税効果による経費節減が見込める一方で、一般会計からの補助金への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減に向け、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。